

平成25年度  
環境省

# 循環型社会形成 推進研究発表会

参加費  
無料

本研究発表会は、24年度に研究を終了した環境研究総合推進費（補助金）「循環型社会形成推進研究事業」及び「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」の研究成果を広く一般に公開するものです。

大阪会場は循環資源の高度利用と回収、東京会場は廃棄物系バイオマスの利活用に焦点をあて、公開シンポジウムと研究発表を行います。また、京都会場では国際会議「3R International and SWAPI」のプログラムのひとつとして、アジア地域及び世界に向けて研究発表を行います。（使用言語：英語）

循環型社会に関心をお持ちのみなさま、研究成果の活用を検討されている自治体・企業のみならず、環境研究総合推進費への応募をお考えの研究者のみならずなど、幅広い方々のご来場を心よりお待ちしております。

## 大阪会場

テーマ：循環資源の高度利用と回収・リサイクル技術

日時：平成25年12月6日(金) 9:30～16:50 (午前：公開シンポジウム 午後：研究発表)  
場所：マイドームおおさか 8階第3会議室 (大阪市中央区)

## 東京会場

テーマ：廃棄物系バイオマス利活用研究の現状と今後

日時：平成25年12月11日(水) 9:30～16:20 (午前：公開シンポジウム 午後：研究発表)  
場所：中央大学駿河台記念館 2階285号室 (東京都千代田区)

## 京都会場

日時：平成26年3月11日(火)

場所：京都大学 百周年時計台記念館 (京都市左京区)

※京都会場の会場及び発表時間は、3R International and SWAPI のホームページ (<http://3ri-2014.org/>) をご確認ください。

### 大阪会場「循環資源の高度利用と回収・リサイクル技術」

9:30～9:40 環境省挨拶

9:45～12:15 公開シンポジウム

- コーディネーター  
藤田 正憲 (大阪大学 名誉教授)
- パネリスト (50音順)  
奥野 芳男 (アタカ大機株式会社)  
富山 茂男 (日立造船株式会社)  
松本 信行 (大阪ガス株式会社)

9:45～10:15 基調講演

「循環資源の高度利用と回収・リサイクル技術」

藤田 正憲 氏

10:15～11:00 基調発言

「し尿、浄化槽汚泥からの高効率リン回収 (HAP) 技術の開発」

奥野 芳男 氏

「廃棄物からのバイオマスの回収とエタノール変換技術の開発」

富山 茂男 氏

「水熱ガス化プロセスによる工場廃水の処理・燃料ガス製造技術の実証試験」

松本 信行 氏

11:00～12:15 ディスカッション

13:00～16:50 研究発表 (7題)

### 東京会場「廃棄物系バイオマス利活用研究の現状と今後」

9:30～9:40 環境省挨拶

9:45～12:15 公開シンポジウム

- コーディネーター  
古市 徹 (北海道大学 名誉教授)
- パネリスト (50音順)  
神田 英輝 (名古屋大学大学院工学研究科)  
田中 修三 (明星大学理工学部)  
米本 年邦 (東北大学大学院工学研究科)

9:45～10:15 基調講演

「廃棄物系バイオマス利活用研究の現状と今後」

古市 徹 氏

10:15～11:00 基調発言

「草木質系バイオマスの常温脱水脱油技術による石炭・油代替燃料への転換」

神田 英輝 氏

「変異・融合酵母による稲藁の高度エタノール発酵技術の開発」

田中 修三 氏

「食用油製造工程で排出する遊離脂肪酸残渣油を原料とした高品質バイオディーゼル燃料の連続製造技術の開発」

米本 年邦 氏

11:00～12:15 ディスカッション

13:00～16:20 研究発表 (6題)

### 京都会場 (使用言語：英語)

研究発表 (5題) ※京都会場の詳細は、3R International and SWAPI のホームページ (<http://3ri-2014.org/>) をご確認ください。

※研究発表プログラムは裏面をご覧ください。

各会場定員がございます。事前登録制となっておりますので、下記ホームページよりお申込みください。

お問合せ先

一般財団法人日本環境衛生センター 研修広報部企画広報課 〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6  
TEL: 044-288-5095 URL: <http://www.jesc.or.jp/info/25suishin/index.html>

# 平成25年度 環境省 循環型社会形成推進研究発表会 プログラム

お問合せ

一般財団法人日本環境衛生センター 研修広報部企画広報課 〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6  
TEL:044-288-5095 URL:<http://www.jesc.or.jp/info/25suishin/index.html>

## 大阪会場

テーマ：**循環資源の高度利用と回収・リサイクル技術**

日時：平成25年12月6日(金) 9:30~16:50

場所：マイドームおおさか 8階第3会議室 (大阪市中央区本町橋2番5号)

### 公開シンポジウム

「循環資源の高度利用と回収・リサイクル技術」

9:45~12:15

(敬称略)

- コーディネーター 藤田 正憲 (大阪大学 名誉教授)
- パネリスト (50音順) 奥野 芳男 (アタカ大機株式会社) 富山 茂男 (日立造船株式会社) 松本 信行 (大阪ガス株式会社)

### 研究発表

13:00~16:50 (途中休憩15:00~15:15)

(敬称略)

「望ましい地域循環圏形成を支援する評価システムの構築とシナリオ分析」	松本 亨 (北九州市立大学国際環境工学部)
「有機性廃棄物からの高効率有機酸発酵技術の開発および反応機構解析」	日高 平 (独立行政法人土木研究所)
「地域におけるバイオマス利活用の事業、経済性分析シナリオの研究」	近藤加代子 (九州大学大学院芸術工学研究院)
「廃棄物処理処分に伴い排出される副生塩のリサイクルシステムの構築に関する研究」	樋口壮太郎 (福岡大学工学部)
「未利用リン資源の有効活用に向けたリン資源循環モデル開発」	松八重一代 (東北大学大学院工学研究科)
「回収リン資源を利用した大気・水質汚染物質の除去技術の開発」	西川 治光 (シグマ環境工学研究所 (前 岐阜県保健環境研究所))
「使用済みインクカートリッジから回収されたインク廃液の再資源化技術の構築 — インク中のカーボンブラックを利用した安価な高強度チタン材の開発」	近藤 勝義 (大阪大学接合科学研究所)

## 東京会場

テーマ：**廃棄物系バイオマス利活用研究の現状と今後**

日時：平成25年12月11日(水) 9:30~16:20

場所：中央大学駿河台記念館 2階285号室 (東京都千代田区神田駿河台3-11-5)

### 公開シンポジウム

「廃棄物系バイオマス利活用研究の現状と今後」

9:45~12:15

(敬称略)

- コーディネーター 古市 徹 (北海道大学 名誉教授)
- パネリスト (50音順) 神田 英輝 (名古屋大学大学院工学研究科) 田中 修三 (明星大学理工学部) 米本 年邦 (東北大学大学院工学研究科)

### 研究発表

13:00~16:20 (途中休憩14:30~14:45)

(敬称略)

「インライン型水中プラズマによる有機フッ素化合物の完全分解とフッ素回収」	安岡 康一 (東京工業大学大学院理工学研究科)
「消費者の環境配慮行動支援のための情報提供システムの構築」	平尾 雅彦 (東京大学大学院工学系研究科)
「不法投棄等現場の堆積廃棄物の斜面安定性評価」	山脇 敦 (公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団)
「有機フッ素化合物の最終処分場における環境流出挙動の解明と対策技術に関する研究」	松村 千里 (公益財団法人ひょうご環境創造協会兵庫県環境研究センター)
「いわて発戦略的地産地消型リン資源循環システムの研究」	菅原 龍江 (地方独立行政法人 岩手県工業技術センター)
「持続可能な社会を支えるインフラとしての浄化槽の環境影響評価手法の開発」	西村 修 (東北大学大学院工学研究科)

## 京都会場

日時：平成26年3月11日(火)

場所：京都大学 百周年時計台記念館 (京都市左京区吉田本町)

### 研究発表

(敬称略、50音順)

「ごみ焼却排熱有効利用に向けた常温熱輸送・常温蓄熱の実験的評価」	秋澤 淳 (東京農工大学大学院工学研究院)
「地域活性化をめざしたバイオマス利用技術戦略の立案手法の構築」	稲葉 陸太 (独立行政法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)
「高度省エネ低炭素社会型浄化槽の新技術・管理システム開発」	稲森 悠平 (福島大学共生システム理工学類)
「世界の廃棄物処理展開を目指した低炭素型シャフト炉の開発」	高田 純一 (新日鉄エンジニアリング株式会社)
「アジア地域大におけるリサイクル認証制度の導入可能性に関する研究」	堀田 康彦 (公益財団法人地球環境戦略研究機関)

講演者・発表者・演題・時間等は変更になることがあります。

詳細はホームページをご覧ください。<http://www.jesc.or.jp/info/25suishin/index.html>